

学校 番号	62	学校名	松川高等学校
----------	----	-----	--------

平成28年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成28年10月24日（月）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

1 中間報告

- ① 授業中間評価について
 - ・「匿名性を担保した授業評価」アンケート・職員アンケート結果報告
- ② 進路状況について
 - ・3年生の進路状況について
- ③ 生活指導について
 - ・本年度これまでの生徒指導状況の報告
- ④ 各学年主任より
 - ・各学年生徒の現状などについて

2 取り組み報告

- ・本年度の生徒会活動について（旧生徒会役員による活動報告）
- ・評議員からの激励・要望
 - ・校内ですれ違う際に挨拶をする生徒が多い。
 - ・地元保育園児との交流活動についての意見。
- ・新年度の生徒会三役自己紹介と生徒会活動への抱負（新役員）

3 意見交換

- ・現在の松川高校での『課題をもって生徒が自ら学び合う授業』への取り組みについての質問に対して、「生徒が分からないことを知ることで能動的に学習する授業展開を目指す」「受け身の分かりやすい授業の必要性も感じる」などの回答。
- ・「松川高校の生徒につけさせたい力は何か。それに対する工夫はあるか。」という質問に対して、「評価することは難しいが、進路活動を通して段々と社会へ適応させていく指導を丁寧に行っている。そのため、学力的にも2年生の中だるみは少ない。」との回答や、他の評議員からは「学力もつけてもらいたいが、人間的な魅力を磨く学校であってほしい。」「いい大学を出たとかよりも、些細な仕事でも取り組める子どもの方が良い。」などの意見。
- ・「進学希望者と就職希望者に二分される所での苦勞が分かった。先生方の経験談を沢山の引き出しにして、生徒を導いてほしい。」との意見

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 1 会議資料を事前に委員へ送付し、委員の方々からご意見をいただく時間を十分とるように努めた。
- 2 生徒会活動や部活動をご理解いただくために、直に学校評議員の前で生徒会役員が直接活動状況の報告を行った。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 1 生徒会活動の3本柱 {①Mac：マナー・挨拶・クリーンの頭文字をとったもの ②NEO：地元の花をいっぱい増やそうという運動 ③文化祭} と「東日本大震災の被災地との交流」について、それぞれの係長が実際の活動を振り返り発表を行った。委員からは活動の継続への期待の言葉をいただいた。
- 2 保育園児と一緒に花を植える活動に対しては、「園児の成長にも一役買っている」との言葉をいただいた。また、「水やりや追肥など丁寧な仕事をしていただいた」や、「文化祭では園児が出し物を発表させてもらった。沢山の拍手を受けて良い記念になった。」との感謝の言葉もいただけた。
- 3 「人間力の高い生徒」を育てていく意見が多く出された。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 1 生徒会の本年度活動へは好評の言葉をいただいた。また、次年度生徒会三役に対しても期待と激励の言葉をいただいた。
- 2 生徒会役員がゴミ拾いに行く一方で、ポイ捨がなくなっていない事実から、活動に一定の成果を認めるが、全校生徒の意識高揚につながる指導方法には課題が残る。
- 3 学校評議員7名中3名の出席で開催した。評議員の方々が重職にあるため他の会議と重複する点は理解できるが、より多くの方が出席できる日程設定の工夫や、評議員選出において考慮する必要がある。
- 4 『課題をもって生徒が自ら学び合う授業』や、『生徒につけさせたい力』についての学校の取り組みについては、継続していく必要がある。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。

※会議資料、新聞記事等提出できるものがあれば添付してください。